



鉄工所から総合不動産業へ 「アライの挑戦」

～工場跡地に大型物流倉庫開発～



(株)アライプロバンス 新井 太郎

1. はじめに： 金属加工業からの完全撤退

アライプロバンスは本年、創業120年を迎えた。

当社は東京都心部に近い湾岸エリアを中心に大型物流倉庫の開発・賃貸運営を展開しており、2021年10月マルチテナント型物流倉庫「アライプロバンス浦安」を竣工した。2024年8月には物流倉庫第2弾となる「アライプロバンス葛西・A棟」の竣工を予定している。

現在、当社は物流倉庫の開発・賃貸を中核とする総合不動産会社を運営しているが、専門として本格的に不動産事業を展開するようになったのは2020年と最近のことである。

当社の前身である新井鉄工所は明治36年、現在の本社所在地である錦糸町で金属加工業として創業し、昭和14年に主力工場となる東葛西の江戸川工場を建設した。

戦後、ドリルパイプ・油井管継手などの石油掘削機器の製造で急成長し、石油業界では世界的に名の知れるブランドとなり、石油掘削機器以外にも2005年、JAMSTEC（海洋研究開発機構）地球深部探査船「ちきゅう」のドリルパイプを製造するなど、メーカーとして一時代を築いたが、近年時代の潮流は激しく変化し、特化した製造分野の国際競争力は凋落を辿った。このまま国内産業として同事業を継続しても構造的に未来はなく、ジリ貧になる衰退産業と判断し、熟慮の末2016年製造業の完全撤退を決断した。

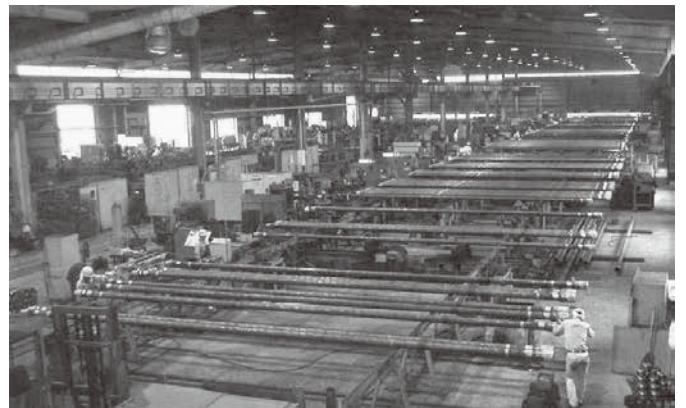


写真1 新井鉄工所時代（昭和期）

2. 第二創業へ決意

製造事業撤退を機に会社解散することは簡単だが、100年以上継続してきた「経営の灯」を消すことがあってはならないという現経営者の強い信念のもと、第二創業を実現させるため、当社の経営資源、強みを活かせる新事業を興すことを真剣に思索した。